

視 察 報 告 書

報告者氏名 藤井 俊行

1 参加者名

流山みらい 藤井 俊行

2 期 間

令和5年1月30日（月）

3 視察地及び視察項目

南房総市

- (1) 南房総サイクルツーリズムの現状について
- (2) 南房総サイクリングガイドブックの現状について

4 所感等

.....
流山市でも江戸川サイクリングロードが一部整備されており、流域自治体議員有志によって、南房総市サイクリングロードの視察を行いました。参加した自治体議員は、松戸市選出県議会議員1名、松戸市議会議員2名、浦安市議会議員1名、市川市議会議員1名、東葛地区の民間サイクル団体から1名の合計7名で視察を行いました。

.....
南房総市の近隣市（木更津市、館山市・君津市）でもサイクリストに対する支援を行っています。館山駅前には環境協会において観光案内所と共にレンタルサイクルも行っていました。

.....
3月から6月にかけては、自転車をそのまま乗せられるサイクルトレイン「B.B.BASE」が運行され、両国駅から木更津駅や館山駅で下車することもできます。

.....
廃園となった旧平群保育所をクラブハウスとして活用。その場で説明を受けました。

クラブハウスには、宿泊施設として二段ベットも設置されています。e-bikeやロードバイクのレンタルも行っています。

サイクリングロードも拝見しました。通常は、路肩付近に自転車通行用のブルーの矢羽根マークで表しますが、車道に表記されているのが驚きました。国が地元の意見を取り入れずにコース選定をしたようで、危険な箇所も多くあるとのこと。地元と連携することが、とても大事であると教えられました。

ガイドブックには、様々な協力店舗が記載されています。QRコードを読み込むことで、スマホ画面にGPSで道案内がされるとのことでした。このアプリの充実が重要です。

江戸川流域で展開していくためには、不整備地区の多い、市川市や浦安市において、う回路の検討が必要です。これが費用を抑えて早期実現していける方法だと感じました。

また、引っ張っていくには、行政主導ではなく、民間の強いリーダーが必要で、行政と連携を取っていく形が理想だとのことでした。

経済交流を考える場合は、立ち寄り店舗や事業所などに、サイクルラックの設置は、不可欠です。初石駅近くのドーナツ店には、サイクルラックが設置されており、ネット上でも紹介されていました。このような店舗を増やし、地図アプリと連携でき、サイクルラック設置場所も増えていくことで、経済性も上がっていくものと考えました。

以上